

【授業の到達目標および概要】

性教育とは、人間の性を人体生理の側面や、心理、社会、歴史、文化的側面から考察した情報、知見を受講者の発達段階や要求に基づいて提供し、彼らの性行動に影響を与えるように働きかけることである。現在、国際的動向は「性を人権として認め」、性教育はすべての子どもたちの性的健康を保障するものと考えられている。

しかし、日本では、先進国としては珍しく、HIV/AIDSが増加しているにもかかわらず、2002年以降、ジェンダー平等教育や性教育に対する激しいバッシングが起り、多くの学校では性教育が後退している。この特論では、日本の性教育をめぐる現状を諸外国の状況と比較しながら検討し、受講者が日本の性教育の課題について具体的に考察できるようになることを目標にする。

【授業計画】

- ①② セクシュアリティをめぐる国際法と国内法の現段階
 - ・セクシュアル・ライツ宣言～モントリオール宣言、「ジョグジャカルタ原則」「国際性教育指針」「欧州性教育基準」などの性と性教育に関する国際的動向
 - ・包括的性教育（WHO）や全方位的（holistic）性教育、あるいは、禁欲的性教育かをめぐって
- ③④ 日本における性と性教育をめぐる現状と課題
 - ・青少年の性行動調査に見られる日本の子どもたちの特徴
 - ・性教育バッシングとは？その後の性教育、教科書の問題
- ⑤ 諸外国の性教育の現状（1）” Sex Education” 掲載の論文から欧米諸国、アジア、イスラム圏の性教育の現状を概観する。
- ⑥⑦ 諸外国の性教育の現状（2）海外調査で入手した資料に基づいて、ドイツ、イギリス、フランス、フィンランド、スウェーデン、カナダ、韓国、オーストラリアなどの性教育を紹介。
- ⑧ 日本と他国の性教育についてのグループ討議（含む感想文執筆）
- ⑨⑩ 日本の中学校での性教育実践報告と討議
- ⑪⑫ 性教育ワークショップ
- ⑬～⑮ まとめ

【授業外学習】

講義に関連する文献リストを初回に配布するので、それに基づいて、事前に学習すること。

【成績評価の方法・基準】

授業展開への貢献度（平常点）とレポート提出による。各々50%で評価。

【参考書】【教材】

参考書として、橋本紀子『こんなに違う！世界の性教育』メディア・ファクトリー新書、橋本紀子、田代美江子、関口久志編著『ハタチまでに知っておきたい性のこと』大月書店を使用するが、その他、毎回、資料を配付し、適宜、他の参考書を紹介する。特に海外調査で取得した各国の教科書を提示する。